

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 岡田美津子



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者		経理責任者	
視 察 議 員	岡田美津子			
期 間	平成30年11月10日（土）～平成30年11月10日（土）			
視 察 先	広島県健康福祉センターでの研修会			
視 察 用 務	「誰もが孤立しない共生社会をめざして」KHJ 全国大会 in 広島 実践交流研修会			
視察先対応者	特定非営利活動法人 全国ひきこもり家族連合会			
概要及び所見	<p>○基調講演「8050問題とひきこもり」 池上正樹（ジャーナリスト）</p> <p>○基調報告「長期高年齢化したひきこもり者とその家族への効果的な支援」 川北稔（愛知教育大学准教授）</p> <p>○行政説明「国におけるひきこもり支援施策」 小野博史（厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 課長補佐）</p> <p>○シンポジウム 「(家族又は親亡き後の当事者の)」孤立防止のために何ができるか</p> <p>ひきこもりに関する問題は以前から関心を持っており、この様な研修会があれば参加しておりました。今回この研修会に参加し「ひきこもり」支援の難しさをあらためて感じたと同時に、様々な立場の方のお話を、しっかり深く聞く事により、当事者の現状や思いが少しでも理解できたことが、勉強となったように思います。</p> <p>講演の中で、 「ひきこもり」という一言で定義して線引きをしたとしても、目の前にいるのは一人の人間であり、ひきこもる行為は、生命や尊厳の危機から</p>			

	<p>自分を守るため、生きていくための選択肢ともいえる。その本質は、本人の「心の特性」ともいえるもので、それぞれの人生における過程に過ぎない。だから、ひきこもらざるを得なくなる背景は、実に多様であり、苦しめられている状況も人の数だけ違う。</p> <p>又、中でも最近話題になっているのが、ひきこもり状態の長期高齢化に伴い、収入のない50代の子と80代の親の世帯が、地域で孤立して生活に行きづまり、親子共倒れなどの悲劇にもつながる「8050問題」だと……</p> <p>この状況が「ひきこもり」問題の原点であり、又、現代社会の課題のように思いました。</p> <p>これから国も地方もこの問題には力を入れていくと思います。</p> <p>本市においても何か解決の糸口や施策がないか、今後ともしっかりとかわっていきたいと改めて思いました。</p>